



鎌倉街道



歴史民俗資料館



苦林野古戦場と慰霊のための千手観音

そして、
人はひたむきに走った

古道「鎌倉街道」

「いざ鎌倉」と馳せ参じた、鎌倉幕府の御家人たち。当時は重要な軍事道路として、また流通経済の経路として、関東武士や商人の栄枯盛衰を見つめてきた道。鎌倉街道は今もなお、往時の面影を偲ばせつつ、ひっそりと時を刻み続けている。

鎌倉街道とは、鎌倉を起点として関東諸国を通り抜け、信濃・越後・奥州などの地方まで続いた道のこと。鎌倉幕府が軍事道路や物資の流通経路として整備しました。有事の際には、幕府の御家人たちが「いざ鎌倉」と馳せ参じた道として知られています。

「鎌倉街道」は関東地方だけでも3つの主要ルートがありました。それぞれの道は「上道」「中道」「下道」と呼ばれ、このうち毛呂山町の東部を縦貫しているのが、「上道」。街道筋には当時を思わせる史跡や逸話が数多く残っており、街道跡の保存状態も極めて良好であるため、今でも多くの歴史ファンが訪れています。

武将たちは、戦に勝ち、より盤



市場地内の鎌倉街道遺跡

石な国造りに尽力するために。商人や町人は、より豊かな暮らしを求め、情報の伝達や物資の流通を行うために。人びとは、それぞれの立場で新しい時代を切り開くため、鎌倉街道を通って行ったのです。

長い歴史のなかで街道の様子もずいぶん様変わりしましたが、調査の結果、毛呂山町市場と小川町伊勢根は、当時の面影を最も濃く残していることが分かっています。

People then ran with a single mind. (Kodo-Kamakura Kaido)

Kamakura Kaido is the road that Kamakura Shogunate constructed for military purpose and for goods distribution. This road is known as Gokenin connecting to Kamakura, if emergency arises. ("Iza Kamakura") Of the three routes of Kamakura Kaido, "Kamitsumichi" goes through the eastern part of the town. Many history fans visit this as it is maintained in a good condition.